



No.1 Noodle Restaurant Company
証券コード:9900

味之民会

りん

第53期 上半期報告書 | 2022年4月1日～2022年9月30日





トップインタビュー

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)〈以下、上半期といいます〉のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず最初に、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。また、感染防止にご尽力してこられた医療従事者をはじめとした多くの関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

上半期におけるわが国経済は、世界的な資源価格の高騰による物価上昇、地政学的リスクによるサプライチェーンの混乱、及び為替相場の急激な円安進行により、エネルギーや各種仕入れなど、あらゆる品目における価格上昇の影響を受けました。

感染症の影響としては、7月以降の第7波において過去最多の新規感染者数となったものの、政府による感染抑制と経済活動の両立策が実施された結果、消費マインドには改善の兆しが見られました。

外食産業においては、3年ぶりに営業制限のないゴールデンウィークやお盆の商戦期を迎えることができたこともあり、客足は徐々に回復傾向となりました。その一方、依然として原材料価格・光熱費の高騰や人件費の上昇等、厳しい環境が続いております。

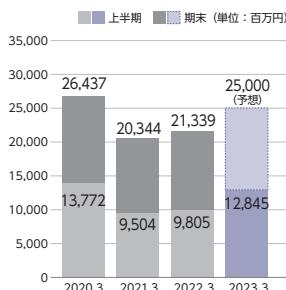
このような環境のもと当社グループは、感染症拡大の予防対策を継続し、お客様及び従業員の安全と健康を守ることを最優先に掲げつつ、新中期経営計画『Challenge to “300”』(2024年度に売上高300億円、当期純利益300百万円、300店舗達成)にもとづき、「持続可能性」の追求と「再成長」の具現化をテーマに、基本的価値であるおいしさ・おもてなしの向上及び「食と健康」の追求に継続的に取り組んでおります。これからもお客様のニーズに対応すべく、テイクアウト商品の拡充やデリバリー対応店舗及びモーニング営業実施店舗の拡大、冷凍自動販売機の設置など、機動的な販売施策を継続してまいります。また、円安などの影響による原材料価格や光熱費の高騰など、厳しい環境が継続することが予測されますが、企業努力によるコストの吸収において今までの概念を超えた方策を迅速に講じることで、お客様のご負担を軽減する対策に取り組んでおります。



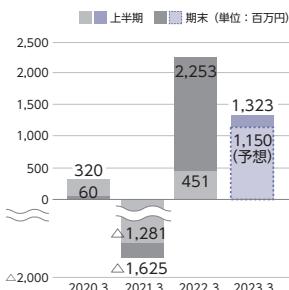
2022年12月

代表取締役社長兼最高執行責任者 (COO) 伊藤 修二

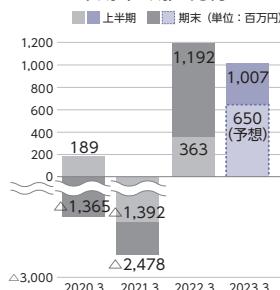
✓ 連結売上高



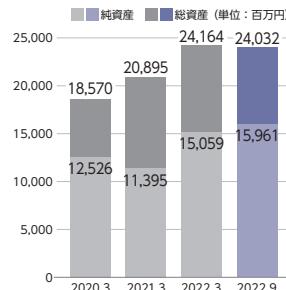
✓ 連結経常利益



✓ 親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益



✓ 連結純資産・連結総資産



「持続可能性」の追求「再成長」の具現化

業績と取り組み

【Q1】上半期の業績及び取り組みについて お聞かせください。

上半期の業績は下記のとおりになりました。

	当初計画値	計画値 (11/7修正)	上半期実績
売上高	12,500百万円	12,800百万円	12,845百万円
営業利益	165百万円	660百万円	665百万円
経常利益	176百万円	1,320百万円	1,323百万円
四半期純利益	55百万円	1,000百万円	1,007百万円

上半期は、3年ぶりとなる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による制限のない状況で営業をおこなうことができたこと及びコロナ禍における事業基盤の強化や成長基盤の再構築に取り組んできた成果として、上半期の売上高は当初計画値に比べ345百万円上回り、営業利益におきましても500百万円上回る結果となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業時間短縮に伴う自治体からの助成金収入542百万円の計上により、当初計画値を大きく上回る結果となり、上半期の過去最高益となりました。

上半期の取り組みとしては、新規出店として、国内

においては、愛知県半田市に主力業態である「和食麺処サガミ 半田インター店」を出店いたしました。また、岐阜県岐阜市にセルフ蕎麦業態4店舗目となる「二代目長助 岐阜岩滝店」を出店いたしました。海外においては、イタリア「サガミ ベリンザーゴ・ロンバルド店」をFC店舗として出店いたしました。これでイタリアでは6店舗となりました。

また、新たな取り組みといたしまして、和食麺処サガミにおいて店舗敷地内に冷凍自動販売機を設置し、当社自慢の手羽先やみそ煮込、韃靼そばアイスなどの販売を開始いたしました。店舗営業時間以外でもご購入いただけることから、お客様からご好評をいただいております。現在6店舗に設置しており、今後、設置店舗を拡大する計画でございます。





経営の改善と取り組み

【Q2】 今後の店舗運営に関する各種取り組みや出店計画はいかがでしょうか。

当社グループは、コロナ禍以前から事業基盤の強化や成長基盤の再構築など、既存店の改革に努めてまいりました。2022年5月に発表いたしました中期経営計画に基づき、引き続き基本戦略である『「持続可能性」の追求』と『「再成長」の具現化』を進め、企業価値の向上に努めております。

『「持続可能性」の追求』においては、各部門の採算意識を高め、収益力の改善に取り組んでおります。一方で省力化設備の検証・導入を進めることで生産性向上及び労働環境改善に繋げ、基本的価値であるおいしさ・おもてなしの向上に人的資本を集中する環境構築を進めております。また、食への安全・安心を確保しつつ、健康に配慮した商品開発を行い、お客様及び従業員を含めた全ステークホルダーとの相互信頼を深め、提供価値の可視化、情報発信の多角化によるブランディングを推進し、更なる提供価値向上を目指しております。

『「再成長」の具現化』においては、社会・経済状況の変化を見据え、ポートフォリオの再構築を実施しております。「和食麵処サガミ」「味の民芸」などの既存事業のポジショニング再定義と見直しを実施し、「そば」「なごやめし」「手延べうどん」といった当社グループの強みを活かした成長領域展開を促進してまいります。

出店計画につきましては、国内においてはFC事業の拡大を視野に入れ、手延べうどん「水山」、ラーメン専門店「ぶぶか」、かき揚げ十割そば「長助」など、小型店舗のFCモデル確立とFC展開に取り組んでまいります。

海外においては、ベトナムの事業展開強化に向け、FCでの拡大を視野に入れたベトナム国内におけるパートナーシップの構築を進めてまいります。

また、イタリア事業においては、FCでの店舗展開を進めており、現在6店舗ですが、複数の新店舗を視野に入れております。足元でも売り上げは好調で、9月期の既存店売上高は進出以来過去最高となりました。

当社グループは、コロナ禍におきましても、年間10店舗の出店を継続して参りました。引き続き基本戦略である『「持続可能性」の追求』と『「再成長」の具現化』を進め、企業価値の向上に努めるとともに、更なる店舗網拡大に向け取り組んでまいります。

企業価値向上

【Q3】 サガミグループブランド化への取り組みについて聞かせてください。

当社グループは経営理念として『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさ笑顔のために～』を掲げております。

この理念のもと、和食麵処サガミ業態では、各店舗による「そば名店」のコンテストを実施いたしました。そば打ちの命となる粉・水の管理から、製麺、湯がき、

味に至るまでを点数化し、各店の品質を競うコンテストです。本年度の「そば名店」は、愛知県の和食麵処サガミ稲沢店と埼玉県和食麵処サガミ東川口店が受賞いたしました。

あいそ家業態では、「手仕込みとんかつの名人」店舗として愛知県の天道店を、味の民芸業態では、「天ぷら名人」の店舗として東京都の町田成瀬店、東大和店を表彰いたしました。

また、和食麵処サガミにおいては、サガミアプリを一新し、地域によって異なる店舗毎のメニュー閲覧やお持ち帰りやデリバリーの受付、席のご予約なども可能となりました。更なるサービス向上も進めており、ご利用のお客様への情報発信も積極的に行ってまいります。

さらに、主に関東で展開しております味の民芸では、生産性の向上とお客様の利便性向上の目的でテーブルオーダーシステムの導入を始めております。一部店舗での検証を重ねた上で、2022年9月末時点で48店舗中31店舗への導入が完了しており、2023年3月末までに全店導入を計画しております。

今後も、当社グループは、お客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様へ

**【Q4】改めて株主の皆様メッセージを
お願いいたします。**

2022年4月に市場再編が行われ、当社は東京証券

取引所プライム市場へ移行いたしました。そして6月には今後の事業展開や税務状況を総合的に判断し、復配に向けた環境が整ったものと判断し、1株当たり5円の配当を実施いたしました。

引き続き、2024年度を最終年度とする中期経営計画の『Challenge to “300”』を実現すべく、お客様への提供価値を向上させつつ、人財教育等による効率化、スマート化を推進し、新規出店や新市場の開拓を行ってまいります。

先に述べた当社経営理念を具現化するために、役員を含め従業員一同で中期経営計画に基づき、売上高、利益の向上に加え、ESGやSDGsといったサステナブルへの取り組みをさらに進めてまいります。

株主の皆様におかれましては今後ともご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上





和食麺処サガミ半田インター店 新規出店のお知らせ

2022年9月9日に愛知県半田市に和食麺処サガミ半田インター店を出店いたしました。

同店は、愛知県南部の知多半島の中央、知多半島道路半田ICから約1キロメートルに位置しております。店舗南方には和食麺処サガミ武豊店がありますが、一部異なるメニューを販売することで、差別化を行っております。

近くにお立ち寄りの際は、是非ご来店ください。



半田インター店

【住 所】 愛知県半田市青山四丁目6-3

【電話番号】 0569-23-3501

【営業時間】 8時～22時（オーダーストップ21時30分）



名証IR EXPO2022へ出展

当社は、2022年9月9日と10日の2日間に渡り、名古屋市内吹上ホールにて開催された名証IR EXPO 2022に出展いたしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年ぶりの開催となりました。期間中5,400名の来場があり、当社ブースにも多くの投資家の方々や株主様にお越しいただき、直近の取り組みや今後の取り組みについて説明を行い、熱心に耳を傾けていただけました。

今後も様々な情報発信を行い、当社の魅力を知っていただけるよう活動してまいります。



TOPICS



【和食麺処サガミ】 冷凍自動販売機設置

和食麺処サガミでは、一部店舗において冷凍自動販売機を設置いたしました。当社の商品をご家庭でも味わっていただけるよう、24時間いつでもお買い求めいただけます。2022年9月末現在で、愛知県では名古屋市内の一色大橋店と有松店、一宮市の一宮今伊勢店、東京都では東村山店、埼玉県では東川口店、兵庫県では川西加茂店と合計6店舗にて設置しております。



TOPICS



【味の民芸】 テーブルオーダーシステムを全店導入へ

主に関東にて展開している味の民芸では、生産性の向上とお客様の利便性向上の目的で、2022年度上半期において48店舗のうち31店舗にてテーブルオーダーシステムを導入いたしました。一部店舗での検証を重ねた上で、当社のブランドイメージおもてなしやサービスの低下につながることはないかと判断をし、本年度中には味の民芸全店への導入を計画しております。



味の民芸ホームページ <http://www.ajino-mingei.co.jp/scene/>



部門別外食事業の状況

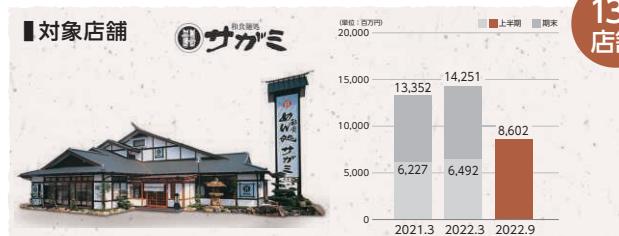
和食麵処 サガミ部門

8,602 百万円



和食麵処サガミ部門では、全店販売促進企画として、4月に「サガミ純鶏名古屋コーチンフェア」を1回、5月には地域別にて「船上活メー本釣り鯉フェア」、「天然真あなごフェア」を1回、8月に「北海道味めぐりフェア」を1回実施いたしました。また、4月に「サガミ公式Twitterフォロー&リツイートキャンペーン」、「ゴールデンウィーククーポンの配布」、6月に「父の日企画」、また一部地域販売促進企画として6月に「御園座ご招待キャンペーン」、7月には「夏の大感謝祭」、9月には「シルバーウィーククーポンの配布」を各1回実施いたしました。これにより、既存店売上高は前年同一期間に対して32.5%増となり、既存店客数は前年同一期間に対して27.4%増、客単価が前年同一期間に対して4.0%増となりました。

店舗関係では、「和食麵処サガミ半田インター店」(9月)を出店いたしました。一方、「和食麵処サガミ西大津店」(5月)、「和食麵処サガミ藤枝店」(8月)を閉鎖いたしました。



どんどん庵部門

385 百万円



どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を6回実施いたしました。また、4月に「麵大盛分無料キャンペーン」、5月に「GO!どんどん庵クーポンキャンペーン」を実施いたしました。



味の民芸部門

2,814 百万円



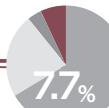
味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を4回、「母の日フェア」、「父の日フェア」、「手延べうどん食べ放題企画」、「敬老の日フェア」を各1回実施いたしました。また、「夏の大感謝祭」として人気商品のお値打ち価格販売に加え、「店内飲食およびテイクアウト10%引きキャンペーン」を1回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸西国分寺店」(8月)を閉鎖いたしました。



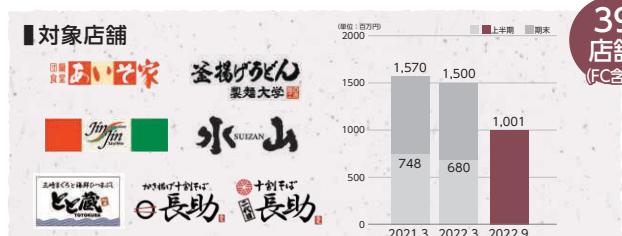
その他の部門

1,001 百万円



その他の部門では、団樂食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を5回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を5回実施いたしました。国内店舗関係では、岐阜県岐阜市に「十割そば二代目長助岐阜岩滝店」(5月)を出店いたしました。

海外店舗関係では、イタリア・ミラノ市郊外に「SAGAMI ベリンザーゴ・ロンバルド店」(4月)をFCで出店いたしました。その一方、イタリア「SAGAMI シエナ店」(8月)を閉鎖いたしました。



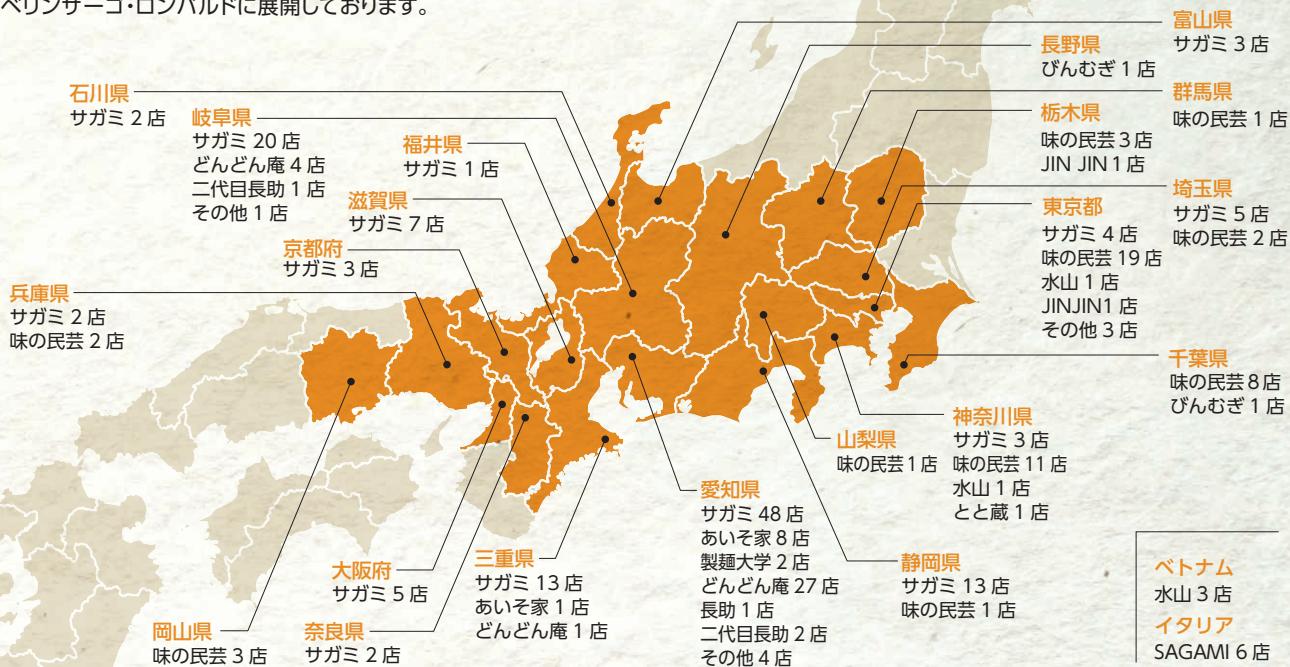
店舗ネットワーク

(2022年9月30日現在)

当社グループは、「和食麺処 サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どん
どん庵」「水山」「製麺大学」「びんむぎ」「JINJIN」「長助」「二代目
長助」「DelaPASTA Kitchen」「ぶぶか」「SAGAMI」「ごちた
く」を展開しております。また海外はベトナムのホーチミン、イタ
リアのミラノ、モデナ、ボローニャ、パルマ、レッジョ・エミリア、
ペリンザーゴ・ロンバルドに展開しております。



合計
253
店舗



和食麺処サガミにて提供しているみそ煮込の「みそ」は、味のベースとなる「豆みそ」、甘味とまろやかさを出す「白みそ」、コクを出す「八丁みそ」を当社独自の割合で調合し、厳格な温度管理のもと、当社グループ工場にて製造しています。

また、みそ煮込の「麺」につきましては、通常のうどんが食塩水を使用し製造されているのに対し、真水で練り上げて製造することにより、湯がいても水分を吸収しない、固めの独特の食感を生み出しています。

名古屋めしの代表とされる「みそ煮込」を是非ご賞味ください。

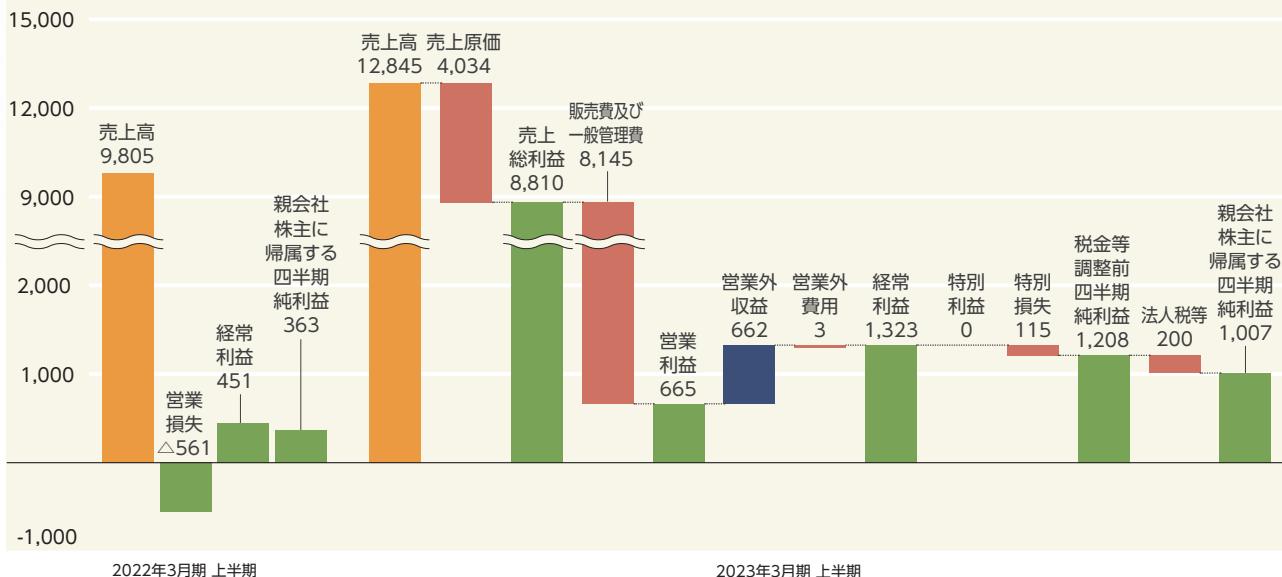




連結財務諸表 (要約)

連結損益計算書

(単位：百万円)



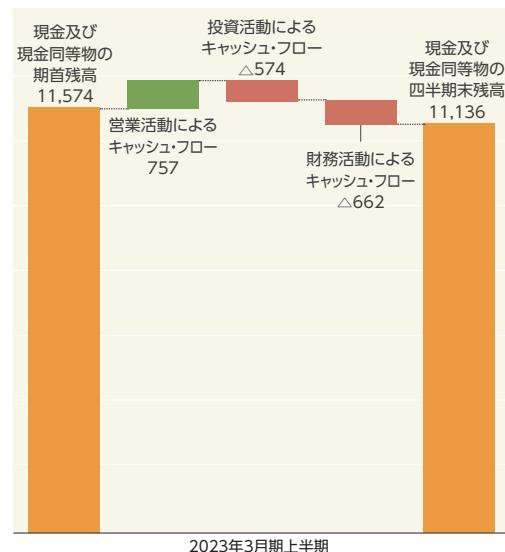
連結貸借対照表

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)





■会社概要

商号	株式会社サガミホールディングス
設立年月日	1970年(昭和45年)3月4日
資本金	9,090,653,149円
従業員数	543名
本社	名古屋市守山区八剣二丁目118番地
店舗数	253店舗
グループ企業	サガミレストランツ株式会社 味の民芸フードサービス株式会社 株式会社サガミマネジメントサポート 株式会社サガミフード サガミインターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY

■役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役会長
兼最高経営責任者 (CEO) 鎌田 敏行

代表取締役社長
兼最高執行責任者 (COO) 伊藤 修二

取締役副社長執行役員 大西 尚真

取締役執行役員 長谷川 喜昭

取締役執行役員 鷺津 年春

取締役 川瀬 千賀子 (社外)

取締役 有馬 祥子 (社外)

取締役常勤監査等委員 古川 賢一郎 (社外)

取締役監査等委員 神谷 俊一 (社外)

取締役監査等委員 村上 貴子 (社外)

(注) 川瀬千賀子、有馬祥子、古川賢一郎、神谷俊一および村上貴子の各氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。

■株式情報

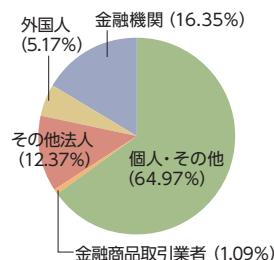
1 発行可能株式総数	100,000,000株
2 発行済株式総数	30,301,784株
3 株主数	20,688名
4 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,667	8.80
昭和産業株式会社	1,194	3.94
アサヒビール株式会社	1,032	3.40
株式会社愛知銀行	923	3.05
株式会社昭和	433	1.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	432	1.42
サガミ共栄会	405	1.34
JP MORGAN CHASE BANK 385781 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	384	1.27
大嶋 つき子	375	1.23
岩月 康之	249	0.82
合計	8,098	26.74

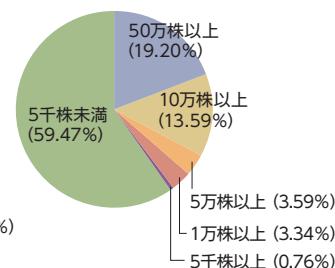
(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として17,710株を所有しております。
3. 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が130,700株を所有しておりますが、ここでは上記自己株式に含めておりません。

■株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告
定時株主総会	毎年6月下旬		事故その他やむを得ない事由によって
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日		電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	定時株主総会関係 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ 公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
		インターネット ホームページ	https://www.sagami-holdings.co.jp/



株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
及び電話照会先 電話 0120-782-031 (通話料無料)

株主優待のご案内

- ・1,000株以上保有の株主様※1
年間3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券
(1万5千円を年2回)を贈呈
- ・500株以上1,000株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間10枚(5枚を年2回)贈呈
- ・100株以上500株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間4枚(2枚を年2回)贈呈



【権利確定日】毎年3月31日、9月30日
【発送予定】毎年6月下旬、12月中旬



左記QRコードよりご利用店舗
をご確認いただけます。

- ※1.1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「SAGAMI」「ごちたく」「びんむぎ」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「ぶづか」「長助」「二代目長助」にてご利用いただけます。
- ※2.1枚につき、割引上限金額は3,000円(税込)となります。株主優待券を含む他の券との併用はできません。ご飲食代金およびテイクアウト商品代金にご利用いただけます。「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「びんむぎ」「ぶづか」「長助」「二代目長助」においては、20%割引ではなく、お一人100円(税込)割引とさせていただきます、1枚で4名様までご利用いただけます。

ホームページのご案内

各業態の店舗情報やメニュー情報をはじめ、当社グループに関する様々な情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.sagami-holdings.co.jp/>



株式会社サガミホールディングス

〒463-8535 名古屋守山区八剣二丁目118番地
電話 052-737-6000

